



広報 Nakadomari PR Magazine

なかどまり

10月
OCT 2014 No.115

猿賀神社例大祭 小学校相撲大会

がっぷり四つ



【スポットライト】
少年の主張大会
敬老会など

【まちの話題】
中里誠心塾の活躍
交通安全母の会研修など

【お知らせ】
なかどまり町民文化祭
つがる西北五広域連合
採用試験など

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

(単位：円)

Table with 4 columns: 会計種別, 収入, 支出, 差引額. Rows include 一般会計, 国民健康保険, 介護保険事業, etc.

徐福来町伝説 2222周年記念事業

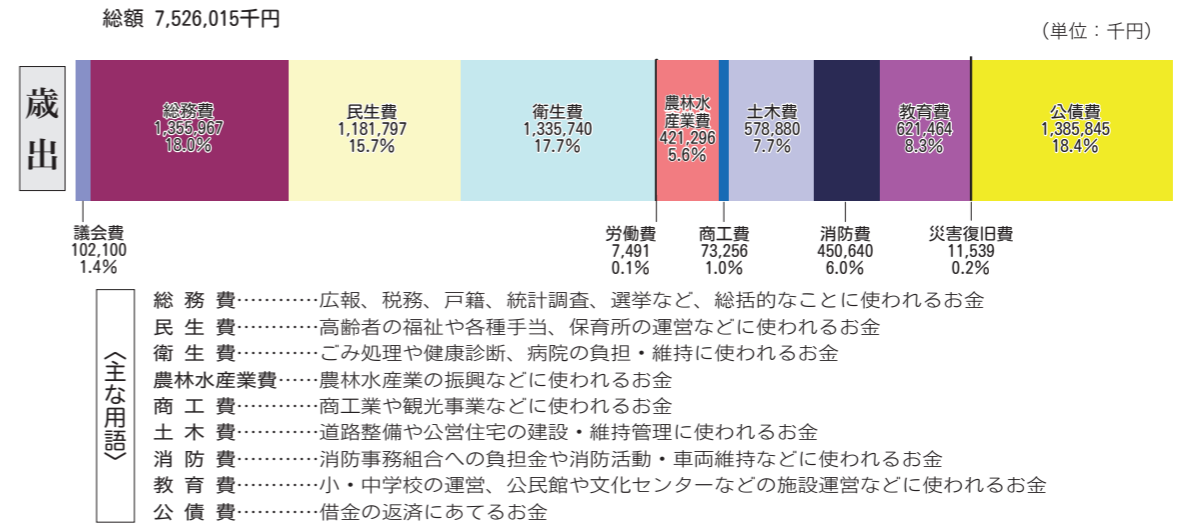
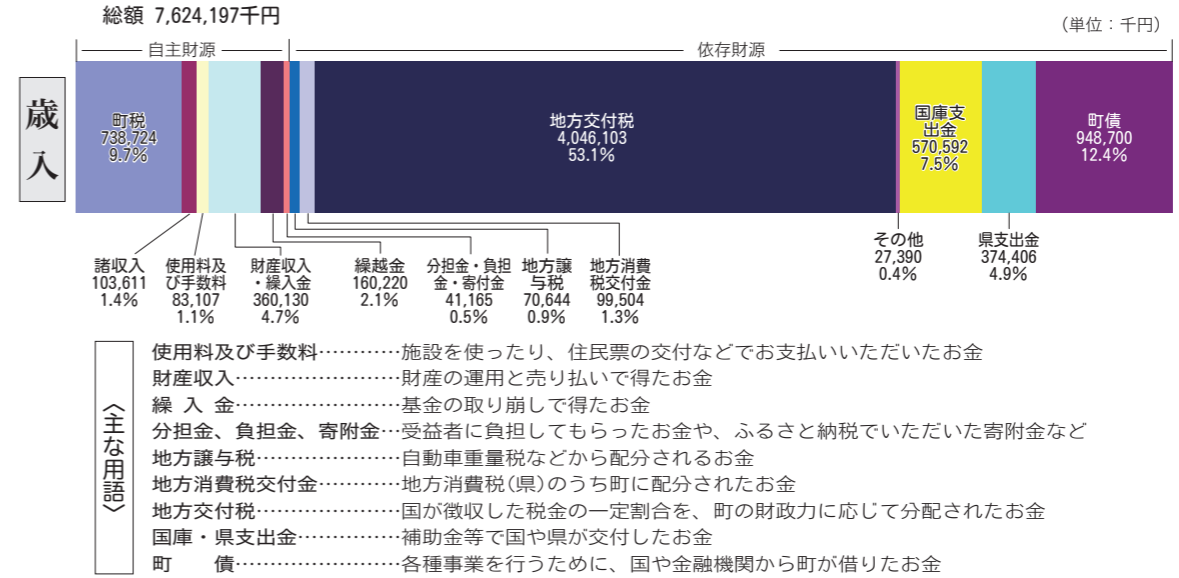
3,992千円



町の新しいイベント「徐福まつり」を開催。下前徐福公園を会場に心感・体感・食感イベントとして、講演、グルメ、音楽祭、右檣舟漕ぎ競争などを開催しました。

1 一般会計の概要

福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



新公営住宅建設関係事業

150,355千円

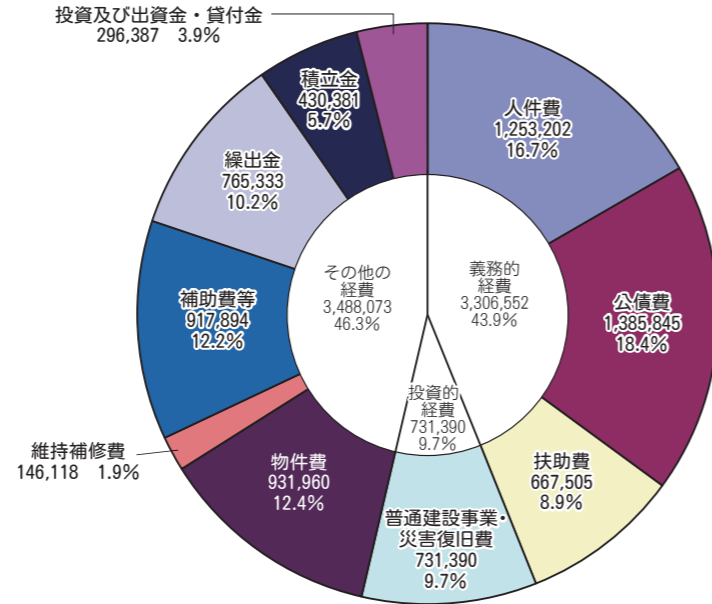


新町営住宅60戸を建設するにあたり、造成工事・浄化槽設置工事・道路工事・給水管敷設工事等の関連工事が行われました。

4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

使ったお金の性質によって分けた表です。(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

Table with 4 columns: 会計種別, 平成24年度末, 平成25年度末, 比較増減. Shows the balance of public debt at the end of fiscal years.

中泊町地域情報通信 基盤整備事業

226,220千円



市内番号内湯地区58局、小泊地域64局へブロードバンドサービスが提供できるよう光ケーブルを設置しました。

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

Table with 5 columns: 年度, 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率. Shows fiscal health indicators for fiscal years 23, 24, and 25.

〈各指標の解説〉

実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。

入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります

中秋の名月のもと

富野山猿賀権現例大祭

旧暦の8月14日・15日にあたる9月7日(日)・8日(月)、富野猿賀神社で例大祭が行われました。7日は前夜祭として、グラウンドゴルフ大会を皮切りに、親子で踊る十五夜踊りが開催されました。

十五夜の本祭は、地元富野保育所によるお遊戯、登山ばやし演奏、小学校相撲大会、舞踊(夢幻天舞、健康ダンス「べえ子ちゃん」)、満月仮装踊り大会などのイベントで盛り上がりました。



富野小学校児童



満月仮装踊り大会

また、武田小、消防団、企業などが、豊作や安全などを祈り、大きなのぼりを担ぎながら神社までの道のりを登山ばやしにあわせて練り歩きました。

小学校相撲大会では、武田小をはじめ、中里小、薄市小も参加。個人団体で争いました。この大会は、3人抜きをすれば負けても豪華賞品を獲得できます。中でも2年生の部では、女子選手が奮闘しました。男子選手を次々に破り、見事3連勝しました。会場からは大きな拍手・歓声があがりました。

祭のフィナーレは、満月仮装踊り大会です。今年は15チームがエントリーし、花嫁、ピエロ、えんぶりなどさまざまな仮装をし、各チームは優勝を目指して踊り続けました。

それぞれの思い 第2回少年の主張大会

町青少年問題協議会が主催する中泊町少年の主張大会が8月28日(木)総合文化センター「パルナス」で開かれました。

大会では、管内各小学校6年生4人、中学校1・2年生4人の計8人がそれぞれの思いを発表しました。

会場には、同じ学年の小・中学生や教員、大会関係者約350人が集まり、発表者を見守りました。開会では、同協議会会長である小野町長が「このようないきな勢の人前で発表することだけでも大変なこと、とても緊張していると思うが、堂々と発表していただきたい」と激励しました。主張は小学校6年、中学校1・2年の順で行われました。

■小学校の部

中里小6年 古川莉乃

「一歩前進」：学級みんながすすんで発表できるように頑張ってほしい。自信がない、間違いたくないではなく、わからないことがあったらすぐ聞くようになるべき、そして一歩前進。

武田小6年 工藤陽菜

「心をつなぐ架け橋」：相手の目を見

て心のこもったあいさつ、人を笑顔にする、地域のコミュニケーションとなるあいさつの力を発表。
薄市小6年 野上莉来奈
「本当の友達とは」：2つの競技を掛け持ったことで多くの友達との遊ぶ時



間がなくなった。その中でもそばにいてくれて、安心できる友人の存在があった。

小泊小6年 太田優希

「ふるさとのために」：地域の少子化問題をあげる。保育士の夢をもち、将来多くの子どもたちが住みやすい町にするため、考えたことを発表。

■中学校の部
中里中1年 下山諒夏

「仲間って…」：中学校に入り、新しいクラスメイトと運動会。団体競技へむけての練習の中で、団結して頑張る仲間の大切さを発表。
小泊中1年 川山雄生

「おもいやり」：自分の一言でケンカしたり不仲になった友人への思い。もう一度関係を修復して前のような友人関係になりたいと発表。
中里中2年 野村一朗

「僕の小さな目標」：陸上部の練習で苦手なメニューがあり、なんでもあきらめずコツコツやるよう前向きに考え方を変えた自分について。
小泊中2年 太田菜月

「250兆分の1」：自分が生まれる確率が250兆分の1であること、つまり奇跡。この命は大切だ。自殺、いじめは絶対にしてはならない。

愛されるキャラクターに

合併10周年事業の一環として行われた中泊町イメージキャラクターデザインの募集で、優秀作品賞を受賞した小泊中教員チームに、9月22日(月)賞状が伝達されました。

この日は、小野町長が小泊中学校を訪問し、チーム代表の梅津教頭へ賞状などが手渡されました。

町長は「町の産業でもある米をうまくデザインしてくれてありがたい。町のPRに役立てていきたい」と伝えました。これに対し梅津教頭は「みなさんから愛されるキャラクターになってほしい」と話しました。

小泊中教員チームへ
優秀作品賞授与



地産地消をよびかけ

青森県フェアに
BBシスターズ登場

昨年、三村県知事と共に県内はじめ、首都圏で青森県産品PRの活動を行ったBBシスターズ。今年もイトーヨーカドー青森店で「青森県フェア」に参加しました。

9月10日(水)のフェアでは、スコップ三味線、知事と一緒に長生きサンバや決め手くんダンスで地産地消と健康をアピールしました。ステージイベント後は、知事と売り場をまわり、生産者や売り場担当と一緒に買い物客へ青森県産品をすすめていました。

鈴木喜代表は「今回で3回目となる青森店ではいつもお客さんに喜んでいただいている。今年もこのような活動に参加できて光栄。自分たちも地産地消を心がけ、健康を維持したい」と話していました。



三村知事と健康ダンス

社会人を経験

中学校3年生が職場体験

総合的な学習の一環として、中里・小泊両中学校が、9月24日(水)と25日(木)町内企業などで職場体験を行いました。この体験は、自らの将来を展望し、夢や希望を育むこと、正しい勤労観と職業観、社会人として必要なものを身につけることを目的に毎年実施しています。

役場総務課広報係には、中里中から2人の生徒が体験に訪れました。2人は同級生たちの取材や広報づくりを体験しました。



■小泊漁協(小泊中2人)

市場でこの日に水揚げされた魚を氷詰めにする作業などを体験しました。生徒は漁協職員の指示に従い手際よく動いていました。



■小泊保育所(小泊中2人)

活発に遊んでいる子どもたちと一緒に小泊中の2人が遊んでいました。生徒たちには6人の子どもたちが、抱きついたりつかまったりして楽しんでいました。



■ピュア(中里中3人)

調理場などで手伝いをしたり、食品の加工などをしていました。3人とも真剣な表情で作業していました。



■消防署(中里中5人)

消防車両の説明を受けたり、操作・放水訓練などを体験しました。生徒たちは職員の話に熱心に聞いていました。また、担当した消防署職員は「将来この体験を通じて消防士になって欲しい」と期待していました。

私たちがこのページを担当しました

小野喜也くんの感想

僕が役場の広報係で2日間働いて思ったことは、いろいろな所に取材してみても、正直疲れるけどやりがいがあって楽しかったことです。めったに見知らぬ人と接することはないので、自分にとっていい経験になりました。



山本一希さんの感想

私は職場体験で広報の仕事をしてみて難しかったのが、カメラで写真を撮ることです。写真を撮ること自体は好きですが、動いているものを撮ることがあまりなかったので、難しかったです。しかし、取材や記事の作成などためになることがあり、とても良い経験になりました。



500人で盛大に長寿を祝う

体育センターで
中泊町敬老会開催

敬老の日の恒例行事である中泊町敬老会が、9月15日(例)に体育センターで行われました。当日は町内各地域から約500人が参加しました。主催者である町長からは「郷土の発展に力を尽くしてくださった皆様へ心から感謝します。これからも良きアドバイザーであってください」とあいさつがあり、88歳、ダイヤモンド婚、金婚を迎えた方へ顕彰状を贈りました。今年結婚50周年となった葛西晴一さんは「顕彰を受けることができたのは、町民皆さんや家族のおかげ。これからも健康に留意し、町の発展に寄与したい」と顕彰者を代表して謝辞を述べました。



敬老会の後は昼食を囲みながらの芸能発表会。工夫を凝らした仮装で登場するグループもあり、会場は拍手と笑いに包まれていました。

■88歳長寿者 派立上…工藤源藏、荒関イツ、坂田ふみゑ、成田ときゑ、奈良武夫/派立中…角田文男/派立下…荒関敏隆、加藤勲作/向町上…宮越リシイ、小林トミエ、敦賀政一、珍田フミ、川村フヂエ、長利マツエ、秋元ハツエ、成田はつ、棟方ミサヲ/向町下…金澤チヤ、加藤明子、山崎定繁/五林…古川莊三郎、荒関菊枝/宮川…古川トキエ、小寺キネ、坂田マツヨ/深郷田上…菊池ツセ/八幡…外崎利蔵、福嶋春雄/大沢内…田中春榮/富野…外崎ナミ/豊島…長谷川榮、田中盛義、鈴木ミチエ/田茂木…佐野シゲノ/長泥…工藤イツ、鈴木正治/若宮…高山テル/上豊岡…神たま、石川キミエ/下豊岡…塚本たま、福浦…塚本金之丞、松橋金好/竹田…片山フサ/尾別…新岡マサエ、海野澄子、三浦健治/上高根…小野與三郎、葛西アネ、沖崎セツ/下高根…野上幸作、原子きよの、野上キクヨ、野上リセ/薄市上…野上サヨ、成田ツワ/薄市下…小寺トミエ、福士茂三郎、小野キヨミ、小寺由希子、小寺豊治、葛西由蔵/今泉上…三上ツサ、今本キサ、青山リエ/今泉下…青山きへ、今本キミ、三上キセ/ニタ見…大川リツ/花丘町…熊木キセ/若葉町…岩川キヌヒ/新町1…伊藤トネ、澁谷タミエ/新町2…生田キリエ、工藤たね/小泊派立…鎌田つや、久保田永太郎、成田みち、藤本貞子、宮原ヨシ、三橋みさを/上町…長谷川徳子/折戸…木津谷ハツエ/下前上…古川ヨネ、後藤ハツ/下前浜…佐藤トミ/温泉町…角田こと、會津ちゑ

■ダイヤモンド婚(60年夫婦) 派立下…荒関助四郎・時枝/向町上…荒関春男・セツ/宮野沢…山本平治・テツ/大沢内…大川芳春・カセ/上高根…木村幸雄・ツル、小野秋男・ハツエ/薄市下…福士喜次郎・カツエ/今泉上…小山内喜一郎・キクノ

■金婚(50年夫婦) 派立上…秋元常夫・アキエ/派立下…工藤敏雄・英子/宮野沢…林正七・セツエ/大沢内…大川賢一・則/豊島…加賀田武磨・哲子/尾別…宮越一義・ヒサ、宮越粕昭・トセ、葛西健一・ミツ子/上高根…葛西晴一・智枝、木村正・レ子、小野敏雄・哲江/今泉下…青山清一郎・シヅエ/新町2…小林一彦・ツイ子/上町…大澤利直・アイ子、藤田三雄・アサコ、藤田功・千多/浜町…駒井正勝・昭江、熊木元治・曠子

緊急時に備え訓練

中泊町海難訓練実施隊が
油除去訓練

中泊町海難訓練実施隊が、9月12日(金)小泊漁港、26日(金)下前漁港で港内での油流失事故を想定した油除去訓練を行いました。このうち下前港の訓練では、実施隊副会長の角田下前漁業協同組合長が「いつ起きるかわからない事故であり、訓練が大事になる。我々の漁港の環境を守るためにも取り組んでいきましょう」とあいさつしました。

訓練は港で漁船が給油中に誤って重油を海中に流出させたことを想定しました。現地対策本部を立ち上げ、磯まわり組合のメンバーが中心となり、オイルフェンスを設置しました。海面に広がった油は小型船の乗組員が油吸着マットや中和剤などを散布し、対応方法を確認しました。



上を目指し稽古に励む

中里誠心塾各大会で好成績

各大会で好成績を残す中里誠心塾。9月11日(木)この日も塾生たちは、厳しい稽古に励んでいました。

■塾生たちの試合結果

①第5回スポーツひのまるキッズ東北小学生柔道大会(6月17日青森県武道館)1年男女混合軽量級-23kg優勝 佐井川友也(武田小)/3年男女混合軽量級-30kg2位 田中永喜(武田小)/6年男子軽量級-50kg優勝 片山雄心(武田小)/6年女子軽量級-45kg優勝 野上莉来奈(薄市小)

②第11回全国小学生学年別柔道大会青森県予選会(6月22日鶴田町体育センター)6年男子50kg2位 片山雄心/6年男子50kg超3位 佐井川陽舜(武田小)/6年女子45kg優勝 野上莉来奈(8月17日盛岡市で開催された全国大会へ出場しベスト16の成績)

③第52回三船十段杯争奪柔道大会(9月7日岩手県久慈市)団体戦2位【野上莉来奈、片山雄心、加藤主税(中里小6)、葛西大悟(武田小6)、佐井川陽舜】

このうち、①の大会で見事3連覇、②の大会では全国大会に出場した野上莉来奈さんは、2つの大会について「3連覇への道は厳しかった。初戦から強い相手最後まで苦戦した。でも決勝まで集中して戦うことができた。全国大会はレベルの高さを感じた。これからもっと稽古して上を目指したい」と話していました。



夫婦ともに健康を保ち長寿を

88歳到達夫婦へ顕彰状

青森県知事から88歳の米寿を迎えた夫婦へ顕彰状が届けられたことに伴い、町長が9月22日(月)に4夫婦を訪問して手渡しました。

平成26年度のあおりシニアフェスティバルで顕彰されるものです。今年度町では4組の夫婦が受けました。

- 宮越兼雄・リシイ(向町上) ●長谷川榮・トシ(豊島)
- 福土茂三郎・ハナエ(薄市下) ●三和作太郎・愛子(若葉町)



宮越さん



長谷川さん



福土さん



三和さん

町の環境美化推進に協力

中里高校応援隊が奉仕活動

中里高校発展のため、同校生徒の活動を支援する中里高校応援隊が、9月22日(月)なかどまりまつりのねぶた運行コースの清掃奉仕活動を行いました。

奉仕活動は、同応援隊が生徒・教員と共に町の環境美化推進に協力し、この活動を通して、同校の元気・活発さを地域に周知することを目的に開催されました。

この日は、1・2年生徒と教員、応援隊合わせて40人が活動しました。2班に分かれ、中央公民館とパルナスからスタートし、役場までの道路脇などのゴミをていねいに拾っていました。

また、生徒たちはねぶたで使用する予定だった応援隊が準備したTシャツを着用しながら、この活動に取り組みました。

参加した生徒は「春の奉仕活動が中止になったので、今回できてよかった。住民のみなさんが気持ちよく生活してもらえればいい」と活動の感想を述べました。



夏の終わりの熱い戦い

第10回東日本小中学校相撲中泊大会

中里中学校相撲場で8月31日(日)、第10回東日本小中学校相撲中泊大会が行われました。天気にも恵まれたこの日は県内各地から選手が集まり、団体戦及び個人戦で日頃の稽古の成果を競い合いました。

小学生の部団体戦では連覇を逃しましたが、選手たちは「相手は強かった。稽古をがんばって、来年は絶対に優勝する」と決意を新たにしていました。

中泊道場所所属選手の結果は次のとおりです。

- 個人 小学校3年の部優勝 奈良昂、4年の部優勝 成田力道、5年の部2位 高山日那太
- 中学校1年の部3位 神歩武



交通安全呼びかけ

富野保育所児童街頭監視

町交通安全協会武田支部(支部長・田中進美)が、9月10日(水)武田診療所前で街頭監視を行いました。富野保育所児童14人とその保護者などが集まり、診療所前で道行く自動車や自転車の運転者へ「安全運転をお願いします」と呼びかけました。一方、ドライバーのみなさんも「はいわかりました。ご苦労様だね、がんばってね」と笑顔で声をかけていました。



漁業への理解深める

小泊中1年が市場見学とサザエカレー

講義や実習を通して、地元産業である漁業に対する理解・興味を深めようと小泊中学校1年生が、9月24日(木)小泊漁協や市場で学習会を行いました。

始めに小泊漁協で地元で獲れる魚の学習を行いました。鱈ヶ沢漁港事務所職員から魚の種類、生態について講義を受け、目、鼻、耳、口はどこにあるかなど学びました。講義後も約半数の生徒が質問したり、熱心にメモをとる姿がありました。次に市場へ移動し、その日に水揚げされた本マグロなどで確認しました。

その後学校へ移動してからは、小泊漁協婦人部8人の指導のもと、サザエ入りカレーづくりが始まりました。途中タマネギを切っているとき涙を流す男子生徒もいて笑いを誘っていました。出来上がってからは、全員で試食。サザエの風味がきいたカレーを味わい、「おいしい、おいしい」とおかわりをする生徒もいました。



ザエやエビなどに触れる体験も行いました。続いて魚などの保存に使う氷を製造する施設の見学では、マイナス10℃の世界を体験し、寒さをこらえていました。

その後日本海漁火センターに移動して役場職員から、漁法やブランド化、海洋保護活動、後継者不足など説明を受けました。説明後は、学習した保護活動の体験として、海藻が生えるよう有機団子を漁港内に投入しました。

最後は文化について、小説津軽の像記念館での学習です。柳澤良知氏がボランティアガイドを務め、像の前で越野たけさんから聞いた話を伝えました。

西部クリーンセンターで体験学習

小泊小学校4年生がごみ処理を学ぶ

ごみの減量やリサイクルの大切さを学んでもらおうと、町では「もったいない町民運動」の一つとして、小学校4年生向けに施設見学会を行っています。今年是要望のあった3校(中里、薄市、小泊)を対象に実施しました。

9月11日(木)には小泊小学校4年生が西部クリーンセンター(つがる市稲垣町)を訪れました。同校が見学会に参加するのは初めてのことです。ごみをクレーンで持ち上げる様子や、パッカー車からごみが投入される場所を、児童たちは興味津々といった表情で見学していました。

小泊小学校4年生はごみに関して学習したことをポスターにし、10月に行われる町民文化祭(小泊会場)で展示するそうです。



小泊地域を学ぶ

中里中1年がふるさと学習

地域について学ぼうと中里中学校1年生65人が、9月2日(火)小泊地域を訪れ、漁業や地域の文化について学びました。

漁業の学習では、小泊漁港の荷さばき施設を見学しました。この日は幸運にも、100kgを越える本マグロが水揚げされ、生徒たちはその大きさに驚いていました。漁協職員の説明に対して「このマグロいくらですか。漁師は儲かりますか」など質問をしていました。マグロのほかにもブランド化されている「海峡メバル」や生きたサザエやエビなどに触れる体験も行いました。続いて魚などの保存に使う氷を製造する施設の見学では、マイナス10℃の世界を体験し、寒さをこらえていました。

その後日本海漁火センターに移動して役場職員から、漁法やブランド化、海洋保護活動、後継者不足など説明を受けました。説明後は、学習した保護活動の体験として、海藻が生えるよう有機団子を漁港内に投入しました。

最後は文化について、小説津軽の像記念館での学習です。柳澤良知氏がボランティアガイドを務め、像の前で越野たけさんから聞いた話を伝えました。

交通死亡事故ゼロを目指して

交通安全母の会西北ブロック研修会

子どもと高齢者に安全な交通社会を目指して、9月12日(金)交通安全母の会西北ブロック研修会がパルナスで行われました。当町からも会員30人が参加し、会場でスタッフとしても活動しました。

西北ブロックの母の会会員118人が参加した研修会のオープニングは、中里幼稚園児が務め、鼓笛演奏を披露しました。

第1部は、主催者である青森県交通安全母の会連合会坂本会長が「交通死亡事故は年々減少しているがゼロではない。今後も事故減少に務めていきましょう」とあいさつ。

来賓のあいさつに続いて、金多豆蔵人形芝居が行われました。この日は交通安全をテーマにしたかけあい漫才で参加者と一緒に、交通安全の勉強を楽しみました。

昼のアトラクションとして、謎の美女軍団のみなさんがスコップ三味線を披露し、アンコールをもらう盛り上がりを見せました。

第2部では、「飲酒運転について」と題し、五所川原警察署金木分署桜庭交通係長による講話、活動事例として、中里中学校江良PTA会長がPTAでの取り組みや地域との連携について発表しました。最後は全体討議として、会員の確保対策など意見交換が行われました。

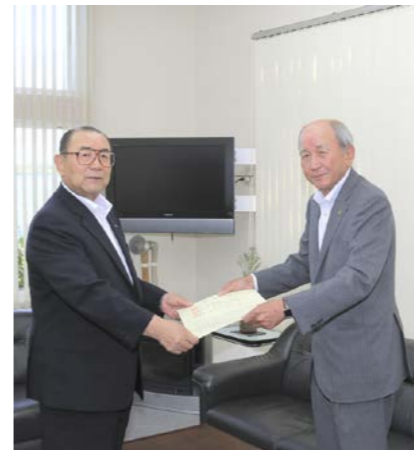


秋の全国交通安全運動の推進

五所川原地区交通安全協会・境谷定雄会長が来町

秋の全国交通安全運動の実施に伴って、五所川原地区交通安全協会の境谷定雄会長が、9月16日(火)に役場を訪れ、知事からの要請文を小野町長に伝達しました。

伝達では、境谷会長が「秋の全国交通安全運動」の強力な推進について、要請文を読み上げました。内容は「日没が早まるこの時期は交通事故が増える傾向があること」、「青森県放射材大作戦を続けて交通事故減少に取り組むこと」などをはじめ関係機関・団体・地域住民が一体となって運動を推進していただきたいというものです。これを受けて、町長は「我々も、関係者と協力し秋の交通安全運動に取り組んでいきたい」と答えていました。



登校を見守る

町内で街頭監視

9月21日～30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されることに伴い、小・中学校児童・生徒が通る交差点など町内5か所で街頭監視が行われました。

このうち中里小学校へ登校する児童たちが通る津軽中里駅前交差点では、関係者が見守る中、子どもたちが元気な声で「おはようございます、ご苦労様です」とあいさつしていました。



5団体が試作ニューを持ち寄る

新おもてなしグルメメニュー開発会議スタート

新おもてなしご当地グルメのメニューを開発するため、9月17日(水)日本海漁火センターで試食会が行われました。

この日は漁協関係者らのほか、プロデューサーのヒロ中田氏も出席。町内から飲食店など5団体が試作品を持ち寄り、イカの貝焼きみそ仕立て、しゃぶしゃぶ、釜飯などの料理が出ました。中田氏は「ランチは短時間での勝負。お客様を待たせないことも重要。新しい食べ方をどんどん考えて欲しい。デザート、火を使用した料理も必要になる」と伝えました。会議は毎月開催し、メニュー案をつめていきます。



中泊町おこし

シジミミソネーズ試食会

シジミの旨みや成分を生かした商品作りへ向けて、商標登録された「シジミミソネーズ」。9月14日(日)ふれあいセンターでその試食会が行われました。

医学博士吉田昭彦氏が監修したもので、いろいろな料理に使用できるといいます。シジミに含まれる栄養素は、認知症予防にも効果が期待できるそうです。同氏は地元出身の(株)東光通商(東京都八王子市)代表取締役・沖崎金光さんの恩師であり、その縁もあって試食会が開催されました。この日は、地元住民らが出席し、ヒラメのカルパッチョ、みそ汁、ラーメンのメニューで、津軽みそと八丁みその2つの味で食べ比べをしました。参加者は「みそにシジミのだしを加えると味に深みがでて濃くなる。自分好みに調整することもできる」と話していました。吉田氏は「互いにアイデアを提供し合い、良い商品を地元の人と共につくっていききたい」と開発への意欲を語りました。

学校給食でも地産地消

給食おもいやり隊が小泊小を訪問

町内でとれた食材を学校給食へ提供している「給食おもいやり隊」の佐藤イネ子さん、田中恵津子さん、葛西昭子さんが小泊小学校を訪れ、6年生児童と給食の時間を共にしました。訪問した8月29日(金)の献立はトマト、じゃがいも、なすを使った夏野菜カレー。トマトが苦手な児童も「これなら食べられる」と話し、完食していました。佐藤さんは、「生きるために食べ物はなくてはならないもの。誇りを持ってがんばっているので、皆さんも勉強をがんばってください」と思いを伝えました。児童たちは「楽しかったです。どんな材料が使われているか知ることができて良かったです」と話していました。



毛豆たくさん採れました

富野保育所児童が収穫体験

6月に種まきをした毛豆を収穫しようと、富野保育所児童16人と保護者6人が、9月17日(水)に野上健さん(上高根)の畑を訪れました。毛豆の種は五所川原農林高校から提供を受けたもので、子どもたちは説明のあと、ひとつひとつ収穫していました。作業の途中で児童のひとりが歌い出すと、あっという間に全員での合唱となり、周囲を笑わせていました。

茎がなかなか抜けないときは、数人で協力して引っ張り、子どもたちは袋いっぱいになるまで毛豆を集めました。招待した野上さんは「子どもたち自身で植えたものを収穫する楽しさを体験してもらえて良かった。毛豆を大好きになって欲しい。また、来年も続けたい」と話していました。

ケッパレ!! 薄市

内潟公民館で恒例の秋祭り開催

互いに支えあう明るいまち薄市をテーマに、内潟療護園が8月30日(土)に秋祭りを開催しました。当日は会場の内潟公民館に町民や同園関係施設の利用者ら約300人が集まりました。

ステージでは、薄市小学校3年生による音読、薄市・富野保育所園児によるお遊戯や荒馬、中里中学校吹奏楽部の演奏、地区の住民による芸能発表など、たくさんの催しが行われました。保育所園児たちは演技が終わった後、「いつまでも笑顔で、お元気でいてください」と観客に声をかけ、会場からは大きな拍手が送られていました。また、屋外には出店コーナーも設けられており、地域住民や親子連れで賑わいをみせていました。



地元出身者が集う

中泊のれそ〜れ祭り2014

ふるさと中泊町の食と文化を楽しみ、懐かしい人たちとの再会やのれそ〜れ飲んで、騒いで我が中泊町にエールを送ろうと、8月31日(日)青森市にあるモルトン迎賓館で「中泊のれそ〜れ祭り2014」が行われました。祭りには、県内で活躍する約130人の町出身者らが参加。地元産本マグロやイカ刺、ブルーベリースイーツなどが用意され、旬の味覚を味わいました。また、町特産品の当たる抽選会、特産品販売コーナーでも楽しんでいました。ステージでは、津軽伝統芸能である金多豆蔵人形劇鑑賞が行われ、終始笑い声が響いていました。会場では、参加者同士久しぶりに会う人も多く、思い出話に盛り上がり、懐かしむ様子もみられました。主催者である「のれそ〜れ応援隊」隊長・松野ミツ氏は「私たちにできることを考え、中泊町を盛り上げていきたい、今後とも協力していきたい」と話していました。



町の発展・平和を祈り

戦没者追悼式

町戦没者追悼式が、9月4日(木)中央公民館近くの慰霊碑前で行われました。式には、遺族会や関係者ら約100人が追悼に訪れました。国歌斉唱、黙祷に続き、遺族会主催の慰霊祭が行われ、各代表者が玉串を捧げました。式辞では、小野町長が「戦後69年を経た今も忘れられない深い悲しみが残る。先人たちが築き上げた今日の平和と繁栄を手放さないよう努力する」と誓いました。続いて、県知事、県遺族会、中里遺族会代表が追悼の辞を述べました。最後は、参列者全員が慰霊碑に菊の花を献花し、祈りを捧げていました。



町児童生徒多数入賞

第36回日本教育書道会西北五書道展地区展入賞

イオンモールつがる柏で9月20日(土)〜23日(火)第36回日本教育書道会西北五書道展地区展が行われ、町児童生徒が多数入賞しました。

■特別賞 中泊町長賞…中1 下山諒夏(梅堂支部) / 中泊町議会議長賞…小4 山田華連(小泊支部) / 中泊町教育長賞…小5 山田晃雅(小泊支部) / 西北五地区連合会奨励賞…中3 長利凌也(武田教室)、吳竹賞…5才 佐々木とうむ(薄市教室) / 小3 鍋田亜衣海(小泊支部)



■特選 小2 佐々木ちえり(薄市教室)、山田皇龍(小泊支部) / 小3 田中さや(武田教室)、石川栞(福浦支部)、佐藤百華(福浦支部) / 小4 成田未空(薄市教室) / 小5 山下緋杏(福浦支部) / 小5 川島心(福浦支部) / 小6 石川采(福浦支部)、野上莉来奈(薄市教室) / 中2 鍋田夕海美(小泊支部) / 中3 大屋七海(薄市教室)

平成26年度 つがる西北五広域連合職員採用試験

問 つがる西北五広域連合病院運営部人事課 ☎ 26-6363

- 1 試験日…12月14日(日)
- 2 受付期間…11月26日(水)まで
- 3 職種、採用予定人員及び受験資格

職種	採用予定人員	受験資格
看護師(助産師含む)	15名程度	昭和55年4月2日以降に生まれた人で、左記職種の免許を有する人または免許を取得する見込みの人
認定看護師(救急看護・緩和ケア・糖尿病看護)		
薬剤師		
臨床検査技師		
理学療法士		
作業療法士	2名程度	
言語聴覚士	1名程度	

4 採用試験案内

ホームページ(<http://www.tsgren.jp/>)から入手できます。また、つがる西北五広域連合病院運営部人事課、かなぎ病院、鯉ヶ沢病院、つがる市民診療所、鶴田診療所でも配布しています。(平日8:30~17:00)

詳細は、採用試験案内でご確認ください。

5 試験場所・内容

- ① 場所…つがる総合病院
- ② 内容…教養試験、作文試験、面接試験、書類審査

6 申込先

〒037-0074 五所川原市字岩木町12番地3
つがる総合病院3階
つがる西北五広域連合病院運営部人事課

土砂災害危険箇所などの緊急周知

近年、台風や集中豪雨により全国各地で土砂災害の発生による大きな被害が発生しています。今年8月20日に広島市において大規模な土砂災害が発生しました。これを受け、町民の防災意識・危機意識の向上のため、町民の皆様へ土砂災害危険箇所、避難場所、避難勧告等の伝達・収集方法などについて再確認をお願いします。土砂災害警戒区域マップなどは、中泊町ホームページでご覧いただけます。

問合せ…役場環境整備課土木係 内233

参考URL(防災情報(防災))

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm/18,7255,45.html>

また土砂災害警戒情報や県内の土砂災害警戒区域等マップなど、土砂災害に関する情報は、青森県庁ホームページから“防災情報(砂防)”で検索するとご覧いただけます。

問合せ…県土整備部河川砂防課砂防グループ ☎017-734-9670

参考URL(防災情報(砂防))

http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/dosha_keikai_itiran.html

中泊町役場 ☎57-2111

小泊支所 ☎64-2111

町からのお知らせ

問 問合せ先 内 内線番号

☎ 電話番号 HP ホームページ

12月21日投開票 町議会議員選挙に立候補予定の方へ 「立候補予定者説明会」 を開催します

問 役場選挙管理委員会事務局 内 191

立候補に必要な届出書類や注意事項、事前審査の日程などを説明します。立候補を予定されている人は、本人か代理人の出席をお願いします。

■日時…11月19日(水) 午後2時~

■場所…中泊町役場青年研修所2階



教育委員会では、文化の日下記のとおり町民映画会を開催します。ご近所お誘いあわせのうえご鑑賞ください。

■日時…11月3日(文化の日) 午後1時30分

■場所…総合文化センターパルナスホール

■上映作品…人生、いろどり

■チケット…前売券500円(当日800円)

※チケットは町役場総務課・小泊支所・パルナスで販売。

■問合せ…教育委員会教育課社会教育係 ☎69-1112 内13

なかどまり町民文化祭開催!

問 中里会場 中央公民館 ☎ 57-2341

問 小泊会場 教育委員会小泊事務所 ☎ 64-2679

今年度は次の日程で開催いたします。皆さまのご来場、作品の出品など町民文化祭へぜひご参加ください。町民文化祭期間中は、地域連絡バスを無料運行いたします。利用ください。日程や内容などは折込のパンフレットをご覧ください。

【小泊会場】

■期間…10月25日(土) ~ 26日(日)

■会場…日本海漁火センター

【中里会場】

■期間…10月31日(金) ~ 11月2日(日)

※10月31日はパルナスホールで中里中学校吹奏楽部演奏会と中里地域小学校学習発表会となります。他のイベント展示作品の鑑賞などは11月1、2日の2日間です。

■会場…パルナス・中央公民館・体育センター

中里保健センター・老人福祉センター

《出品作品例》習字、絵画、写真、盆栽、文化刺繍、ちぎり絵、押し花、切り絵、凧絵、手工芸等。※皆さんが日頃取組んでいる作品を出品ください。一人何作品でもかまいません。出品者には記念品を差し上げます。

職場・グループ対抗カラオケ大会参加者募集

町民文化祭期間中に職場・グループ対抗カラオケ大会を開催します。しっとり歌っても、楽しく歌ってもよし。職場やグループの元気の良さ、仲の良さをアピールしましょう。

■日時…11月1日(土) 午後6時~午後8時30分

■場所…体育センター

■資格…町内にある職場の従業員または町内在住のグループ(未成年者(18歳以下)は保護者同伴のこと)

■選手編成…3人1組

■締切…10月24日(金) ただし10組限定、先着順

■申込先…中泊町中央公民館 ☎(57)2341

街角の年金相談センター青森(オフィス)がオープン
予約専用電話 ☎017(752)6600

日本年金機構は、年金相談のお客様にニーズにお応えするため、10月1日(水)から「街角の年金相談センター青森(オフィス)」を青森市役所向いニッセイ青森本町ビル10Fに開設します。

会保険労務士らが、国民年金・厚生年金保険の制度や、年金の受け取りに関するご相談、手続きを無料で行います。相談日時を予約できません。
■時間…平日(月~金) 午前8:30~午後5:15
※お電話による年金相談は受け付けておりません。

平成26年度職員採用試験を行います。
■試験職種…福祉職(2名)
■受験資格…児童指導員任用資格、保育士及び社会福祉士主任任用資格を有する人(平成27年3月末日までに資格を取得する見込みの人を含む)で、昭和60年4月2日以降に生まれた人

論文試験・面接試験
■受付期間…10月10日(金)~11月28日(金)午前8時15分~午後5時(土日祝日は除く)
※郵送の場合は11月28日必着

役場封筒への広告募集中です
問 役場総務課広報係 内 162

封筒を作ります。3梓掲載が可能です。
■作成する封筒 ①定型角2 縦332mm×横240mm

■広告のサイズ・位置・色 ①定型角2 縦70mm×横200mmで裏面に3梓1色(黒)

■作成枚数…15,000枚
■提出期限…10月22日(水)
■申込…申込書と広告案を総務課広報係へ提出。申込書はホームページからもダウンロードできます。

10月31日は

町 県 民 税 3 期

国民健康保険税 4 期

の納期限です。
忘れずに納めましょう。

※口座振替をされている人の引き落とし日は10月27日(月)です。残高をご確認ください。

問 役場総務課課税係
内 1445146

静和園だより

ボランティア

・宮越兼雄さん(向町) 9/3(水)、松の木剪定の実技指導がてら応援に来てくださいました。現在93歳と高齢ながら梯子を軽々上り熟練の技に入所者も感心しながら眺めていました。



疑問

・ふるさと交流会 9/15(月)敬老の日に88歳になった利用者の「米寿を祝う集い」を行いました。ふるさと交流会の皆さんが歌や踊りを熱演され、米寿のお祝いに花を添えてもらいました。



・おの企画(五所川原市) 9/25(木)9月の誕生者を祝う集いに、メンバー8名が来園されました。代表の小野数夫さんは旧中里出身とあって歌にも気合が感じられ、全12演目の熱演に利用者も手拍子をするなど楽しんでいました。



高齢者ボランティアに参加しませんか

☎ 役場町民課国民健康保険係 ☎ 132

- 今回は11月の予定をお知らせします。
- 派立上 11/5(水) 10:00~12:00 駅ナカにぎわい空間
- 派立中 11/6(木) 13:00~15:30 中里福祉センター
- 小泊 11/17(月) 13:00~15:30 すくすくしたまえ館

図書館情報

今月のMiniコレクション

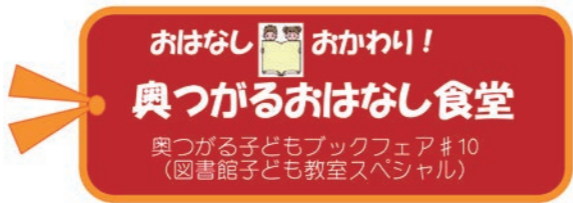
○テーマ「時を越えて愛される名作本」
あの時読んだ本、心の片隅に残っている本、きっとあります。

新刊情報

- 『大間違いの太平洋戦争』 倉山 満 ベストセラーズ
- 『頭に来てもアホとは戦うな!』 田村耕太郎 朝日新聞出版
- 『小森谷くんが決めたこと』 中村 航 小学館
- 『禁断のレシピ』 枝元なほみ、多賀正子 NHK出版
- 『たんぼぼの目』 村岡 花子 河出書房新社

本の寄贈

- * 葛西 満さん(六ヶ所村)
『六ヶ所村 学舎の思い出』(葛西満永) 他3冊
 - * 小田切恭一さん(五所川原市)
『図説 明治百年の児童史』(唐沢富太郎) 他31冊
- ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



奥つがるブックフェア#10を開催いたします
日時…11月15日(土)
場所…総合文化センター「パルナス」

町にあなたの声を届けよう「地区懇談会」開催

☎ 役場総務課広報係 ☎ 162

町長と関係者が出席し、皆さまからご意見やご要望などの声を聴きます。
あなたの声を、ぜひ町に届けてください。

月日	場 所	時 間
11月11日(火)	武田公民館	9:30~11:30
	内湯公民館	13:30~15:30
11月12日(水)	日本海漁火センター	9:30~11:30
	すくすくしたまえ館	13:30~15:30
11月13日(木)	中央公民館	9:30~11:30

※当日は、各課が事業の説明などを行ったあと、皆さまと意見交換する予定です。

法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の申告には電子申告が便利
☎ 西北地域県民局県税課 ☎ 208
☎ 34)2111 ☎ 208
県では、インターネットに

津軽半島大集合2014
☎ 津軽半島北部地域観光推進実行委員会 ☎ 2175
平成27年度末の北海道新幹線津軽いまべつ駅開業に向け、津軽半島地域の食や、文化、歴史をテーマとしたイベントを開催します。入場無料。
■日時：11月8日(土)、9日(日) 午前11時~午後3時
■場所：立佞武多広場(五所川原市)

平成26年度 MOA美術館 中泊児童作品展
☎ 事務局菊池愛子 ☎ 572752

子どもたちの創作活動を奨励し、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間形成」を目的に開催し、町内小学生の力作が一堂に展示されます。

津軽鉄道が結ぶ鉄道カフェ
☎ 津軽鉄道サポーターズクラブ ☎ 34-9022 (鉄道カフェ実行委員会)
「鉄道の日」恒例の鉄道cafeは今回で3回目。今年コンセプトは「津軽鉄道が結ぶ鉄道カフェ」です。
津軽鉄道に触れ合い、親子で鉄道の楽しさを知っていただきたくて、鉄道模型展示・運転、津軽鉄道ミニ列車運行、鉄道写真展やポストカード販売など、たくさんの催し物を用意しています。
このイベントは2日間にわたり、津軽五所川原~芦野公園~津軽中里の3つの会場で開催いたします。
■日時…10月12日(日)、13日(祝) 9:30~16:30
■会場…でる・そーれ、津鉄ホーム留置車内(五所川原)/喫茶店「駅舎」(芦野公園)/駅ナカにぎわい空間(中里)

司法書士に相談を!
☎ 青森県司法書士会 ☎ 017(776)8398
成年後見・相続・労働トラブル借金問題について司法書士が無料で面談での相談に応じます。手話通訳者も常駐。
■日時：11月23日(日) 午前10時~午後4時
■場所：エルム文化センター1
※具体的な相談が必要な場合は別途費用がかかります。相談員に確認ください。

青森県最低賃金改正のお知らせ
☎ 青森労働局労働基準部賃金室 ☎ 017(734)4114
県最低賃金が改正されます。時間額679円(10月24日)県内で働くすべての労働者と使用者に適用されます。製造業と小売業の一部には、特定(産業別)最低賃金が定められます。詳細は青森労働局HP。

調定委員による無料調停相談会
☎ 青森地方家庭裁判所事務局総務課 ☎ 017(722)5421
■日時：10月25日(土)午前10時~午後4時
■場所：エルム文化センター1
■相談内容：交通事故・金銭・

土地建物・公害・家庭の問題など
11月は「労働保険適用促進強化期間」労働保険の加入手続きはお済みですか?
☎ ハローワーク五所川原 ☎ (34)3171
労働者を1人でも雇用している事業主(農林水産業の一部を除く)は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。加入手続きのご相談などお問合せ先まで。
■労災保険：業務災害や通勤災害で負傷したときに、保険給付を行います。
■雇用保険：労働者が失業したときに、生活安定及び再就職促進のための失業給付を行います。

自動車点検整備推進運動
☎ 東北運輸局青森運輸支局検査整備保安部 ☎ 017(739)1506
安全と環境保全には車の点検が必要です。国土交通省では9、10月を自動車点検整備運動の強化月間としています。日常点検(走行距離や運行状況などから判断し点検整備)定期点検(12ヶ月、24ヶ月点検)を行ってください。

心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域	小泊地域
10月22日 古川節子、塚本初子	10月15日 藪田由比子
11月12日 成田 寛、古川 壽	秋田谷徳美
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時~午後2時	相談場所 日本海漁火センター 相談時間 午前9時~午後2時

なんでも行政相談

日時…10月22日(水) 午前9時~12時
場所…中央公民館
行政相談委員…秋元 武弘、藪田由比子
※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

博物館「ユース Museum News」VOL.40

◆秋の企画展「鉄道浪漫Ⅳ― 鉄路・春夏秋冬―」開催!



山口 鎌・野村美喜雄氏ほか所蔵の鉄道模型・ジオラマ展を開催します。

■日時：10月18日(土)～12月14日(日)まで、午前9時～午後4時45分
 ■休館日：毎週月曜・第4木曜・祝日
 ■入館料：通常料金(一般200円、高校・学生100円、小・中学生50円)



◆「今泉分館」特別一般公開!
 お盆の最中、今泉分館一般公開が実施され、里帰り客など今泉内外の人々で賑わいました。



◆博物館「学芸員実習」!

八月上旬、弘前学院大4年台丸谷真純さん(つがる市)が10日間わたる博物館実習に挑み、子ども教室や企画展立案など実践的メニューをこなしました。



◆金木高校インターンシップ!

九月初旬、金木高2年小山内菜摘・荒関海暖さんが、図書館・博物館でインターンシップ(就業体験)を行いました。開館準備

備や資料整理など、多彩な仕事を体験しました。



◆薄市小校内研修!

八月下旬、薄市小職員校内研修の一環として、薄市・今泉地区の史跡・文化財巡りが実施されました。
 あいにくの雨天にもかかわらず、先生方は熱心に見学、地域教材活用への熱い思いが感じられました。



119 消防&救急

秋の火災予防運動

10月20日(月)～26日(日)までの一週間、県内で一斉に「もういいかい 火を消すまではまだだよ」を統一標語に秋の火災予防運動が行われます。火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、地域の皆さんが安全で住み良い町になるように火災予防運動を頑張りたいと思います。そこで「住宅防火のちを守る7つのポイント」を紹介します。

3つの習慣・4つの対策

- 〈3つの習慣〉
- ・寝たばこは絶対やめる。
 - ・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 〈4つの対策〉
- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
 - ・火災を小さいうちから消すために住宅用消火器等を設置する。
 - ・お年寄りや身体の不自由な

山岳遭難に注意

夏も終わりを近づけ、秋のきのこ採りのシーズンを迎えます。入山する機会が多くなり、山岳遭難事故もこの時期に多く発生しています。

☆遭難事故防止の注意点

- ①天気予報を事前によく確認する。
 - ②少人数で地理のわからない山には入山しない。
 - ③着替え、雨具、食料、笛、携帯電話を必ず持つ。
 - ④入山場所、帰宅予定時間、同行者などを家族に知らせしておく。
- ◎遭難事故にあった時は、無駄な体力を消耗しないために、なるべく動かないようにし、救助を待ちましょう。予定時間を過ぎても連絡がなかったり、帰宅しない場合は、早急に警察署・消防署まで連絡をお願いします。

みんなの保健センター

中里 ☎(57)3920
 小泊 ☎(64)3748

むし歯のない子の紹介

3歳児健診にて(9月4日)

①日頃むし歯をつくらないうつ気をつけていることは?
 ②わが子の自慢できることは?

①毎日の仕上げみがき
 ②元気が良いところ



吉田心奈ちゃん (派立下)

①毎日歯磨きをしている
 ②元気なところ



小山菜音ちゃん (向町下)

①毎日必ず仕上げ磨きをしている
 ②あいさつが出来る場所です



木村牙斗ちゃん (深郷田下)

①甘い飲み物は控えています
 ②ご飯をいっぱい食べるところです



成田聖悠ちゃん (今泉下)

①歯磨きの後にフッ素スプレーをする
 ②元気いっぱい笑顔がかわいいところ



川島小雪ちゃん (田茂木)

①仕上げ磨きと定期健診
 ②優しくて元気いっぱい☆



佐藤愛桜ちゃん (長泥)

※今回の3歳児健診で、虫歯のない子は10人中6人でした。

★家族みんなで虫歯予防! お子さんのきれいな歯を守ってあげましょ。

高齢者インフルエンザ予防接種に関するお知らせ

接種を希望する人は、町の指定医療機関に直接お申し込みください。

【対象者】平成26年3月31日時点での満年齢になります

①65歳以上の人
 ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能及びヒト免疫不全ウイルスで免疫機能が障害がある人(障害者手帳内部疾患1級の人)

【実施期間】平成26年11月4日～平成27年1月30日まで
 *医療機関ごとに接種日や時間などが違いますので、ご確認のうえお申し込みください。

【負担金】1,000円(接種医療機関にお支払いください)
 ※住民税非課税の人、生活保護

◆町が指定する接種医療機関

委託医療機関	電話番号
井沼診療所	57-2138
井沼洋クリニック	69-1071
武田診療所	57-2134
中里クリニック	57-3636
りかクリニック	58-3717
中泊おの医院	57-5758
かなぎ病院	53-3111
小泊診療所	64-2117

◎一緒に運動を始めませんか!

効果的からだを動かすことは、エネルギー消費や体重減少だけでなく、血圧や血糖値・コレステロール値の改善など、体にうれしい効果がたくさんあります。一人では継続することが難しいと感じていたり、腰や膝が痛いから運動は無理だろうと諦めている人も、自分にあった運動を見つけてみてはいかがでしょうか?

◆中里地区
 ・会場：中里公民館
 ・日時：毎週1回(月・水曜日) 中心の継続型の教室です)

◆小泊地区
 ・会場：日本海漁火センター
 ・日時：毎週1回(火曜日)の午後を中心に10回継続の教室です)

*初回は10月28日(火)です
教室の内容
 ストレッチ、有酸素運動、筋力トレーニング、健康チェックなど

◎食生活改善推進員会からのお知らせ

食生活改善推進員会では減塩教室を開催します。
 毎日の家庭料理の中の塩分を抑えるために、「だし」を活用した減塩法をテーマに調理実習を行います。塩分は抑えているけど、だしの力でしっかり美味しい。一緒に減塩について学んでみませんか。


日時：11月11日(火)
 午前9時～午後1時まで

場所：中央公民館
 テーマ：だし活で減塩
 内容：だしを活用した減塩料理調理実習
 持ち物：エプロン・三角巾
 参加料：無料
 申込方法：10月28日(火)までに中里保健センターへ



まちのイベントカレンダー

10 月		11 月	
16 木		1 土	なかどまり町民文化祭(体育センター他)
17 金		2 日	なかどまり町民文化祭(体育センター他)
18 土	秋の企画展「鉄道浪漫Ⅳー鉄道・春夏秋冬ー」(~12/14)(博物館)	3 月	文化の日
19 日	8:40~ 大沢内ため池ウォーク	4 火	14:30~16:30 運動教室(中央公民館)
20 月	10:00~12:00 こころの相談日(保健センター) 10:00~12:00 運動教室(中央公民館)	5 水	
21 火		6 木	12:15~ 3歳児健診(中里保健センター)
22 水	18:30~20:00 腎臓病予防教室(中里保健センター)	7 金	
23 木	乳児健診(中里保健センター)	8 土	
24 金	15:00~16:30 こころの健康教室(中里保健センター)	9 日	子ども会 and 北光寿大学ハロウィン
25 土	なかどまり町民文化祭(小泊会場) 「東北文化の日」博物館無料開放 (~10/26)(博物館)	10 月	10:00~12:00 こころの相談日(保健センター) 10:00~12:00 運動教室(中央公民館)
26 日	なかどまり町民文化祭(小泊会場)	11 火	9:30~11:30 地区懇談会(武田公民館) 13:30~15:30 地区懇談会(内瀧公民館)
27 月	10:00~12:00 運動教室(中央公民館)	12 水	9:30~11:30 地区懇談会(日本海漁火センター) 13:30~15:30 地区懇談会(すくすくしたまえ館) 13:00~14:00 健康相談(小泊保健センター) 15:00~16:00 健康相談(すくすくしたまえ館)
28 火		13 木	9:30~11:30 地区懇談会(中央公民館)
29 水		14 金	10:00~ 高齢者教室(中央公民館) 10:00~12:00 子育て・孫育て講座 (中里地区子育て支援センター)
30 木	10:00~12:00 こころの相談日(保健センター)	15 土	
31 金	なかどまり町民文化祭(パルナス)		

講演会・学習会のお知らせ

講師	日時・会場	内容
健診後健康講座 「あなたの腎臓は大丈夫!? ~慢性腎臓病(CKD)って何だろう」 小泊診療所 佐藤 光亮 先生	10月 22日(水) 時間：午後6時半 ~8時ころ 会場：中里保健センター	新たな国民病!ともよばれる「慢性腎臓病(CKD)」をご存知ですか?腎臓は、健康な生活を送るための「 ^{かんじんかなめ} 肝腎要」の臓器です。血管の老化を防ぎ、これからも元気な毎日を送るために、腎臓をいたわる生活のポイントについて学んでみませんか? 

平成26年度 自殺対策緊急強化事業


講師	日時・会場	内容
講話 「睡眠と健康」 青森市 青い森病院 院長 平野 敬之先生	10月 24日(金) 時間：午後3時 ~4時半ころ 会場：中里保健センター	睡眠は肉体的・精神的な疲れをとるために欠かせません。大切な睡眠ですが、一方で「よく眠れない」「すっきりしない」など、悩んでいる方も多いようです。また睡眠不足は糖尿病や高血圧を悪化させることもあります。「睡眠」についての正しい知識を身につけ、気持ちのいい「眠り」に役立てましょう。 
講話 「楽しい♪ 子育て・孫育て講座」 社)青森県助産師会 孫育てプロジェクト 「とりぐるはっぴい」 	11月 14日(金) 時間：午前10時 ~12時ころ 会場：中里地区 子育て支援センター (中里保育所内)	パパ・ママにとって、子育ての一番身近な支援者は、じいじとばあば。じいじ・ばあばの協力、パパ・ママもハッピー、お孫ちゃんもハッピー♡、家族みんながハッピー。家族のハッピーは、地域全体のハッピーにつながります。 昔と今の子育て、じいじ・ばあばの役割、楽しく上手に子育てに参加する方法などをお話して頂きます。また、子育て真っ最中のパパ・ママにも役立つ情報が満載です。ママもパパも、じいじもばあばも、その予備軍も、その他興味のある人はどなたでも、どうぞご参加ください。

~それぞれの開催時間が異なりますので、お間違えのないようにご参加ください~

- ◆ 参加申込み
各講座の1週間前頃までにお申し込みください。
- ◆ 申込・問合せ先
中里保健センター (☎ 57-3920)

保健センターでは、心とからだ健康で、元気に生活できる人を増やすことを目標に、情報発信や学習会を行っていますので、是非ご活用ください。

みんなで守ろう、大切な「いのち」



藪田実季 (下前浜)	金澤智也 (つがる市)	山村加菜 (野辺地町)	葛西弘司 (上町)	小笠原絵梨香 (深郷田下)	成田憲昭 (つがる市)	田澤しおり (五所川原市)	井沼真佐人 (尾別)	神西恵 (宮野沢)	葛西忠幸 (尾別)	加賀田知里 (豊島)	小松諒也 (福島県)
------------	-------------	-------------	-----------	---------------	-------------	---------------	------------	-----------	-----------	------------	------------

結婚おめでとう
おめでとう

磯野唯愛 (女・章次) 下前中
工藤妃麻利 (女・利康) 豊島
外崎蘭 (女・真悟) 竹田

おめでとう
おめでとう

戸籍の窓口

(8月届出分)

西山セイ (上町)	磯野一ツ (入舟)	福士ミヨ (小泊派立)	永坂サキ (下前上)	佐野清一 (田茂木)	横山健造 (五林)	成田勇蔵 (薄市下)	古川蔵 (宮川)	太田サツ (宮野沢)	神成ゆき江 (今泉下)	山本蔵四郎 (宮野沢)	大川久雄 (大沢内)	秋田勝雄 (今泉上)	加藤富美 (向町上)
-----------	-----------	-------------	------------	------------	-----------	------------	----------	------------	-------------	-------------	------------	------------	------------

お悔やみ申し上げます

人のうごき

8月末現在(前月比)

人口	12,272人(-17)
男	5,796人(-10)
女	6,476人(-7)
世帯数	5,182(-3)
出生	3 / 死亡 15
転入	10 / 転出 15

漁業の活性化を目指して 活ハマまつり初開催



バルーンアート



マグロ試食



イカ飯早食い 男子



イカ飯早食い 女子

昨年度結成した中泊活ハマクラブが、9月14日(日)小泊漁協前お祭り広場で活ハマまつりを開催しました。まつりには、新鮮な魚介類などを求め多くの来場者が訪れました。

まつり開会では、同クラブの小林代表が「活ハマまつりは、漁師や漁協などの若手たちが漁業の活性化と、この小泊をアピールしたいと企画したものです。会場のみなさんも一緒にまつりを盛り上げていきましょう」とあいさつ。続いて来賓として小野町長が「活ハマクラブが発足して初のイベントであり、若者たちがこのように頑張っている。町も地域のみなさんと一緒になって応援していきたい」と激励しました。

ステージでは、地元夢幻天舞のよさこい演舞を皮切りにバルーンアート・マジック・ジャグリングショーと子どもや大人も楽しめる催しを用意しました。

また、イカ釣り体験では、釣った真イカを漁協婦人部のみなさんが刺身にするサービスがあり、味覚も楽しみました。

目玉イベントのひとつ、イカ飯早食い競争には、大食い自慢の男女各10人が参加。イカ飯20個を10分でどれだけ食べられるかで争いました。男子は最高で13個、女子は9個という結果となりました。

参加者は「おいしいが、思ったより食べられなかった。しばらくイカは食べなくていい」と笑いながら話していました。

もう一つの目玉である本マグロ解体ショーでは、43kgの地元産マグロが登場。格安で提供された即売会はあっという間に売り切れとなりました。

来場者へ感謝を込めて行われた振る舞いでは、小泊・下前漁協婦人部の海鮮お好み焼き・ホッケのつみれ汁が各300食用意され、長蛇の列となりました。

またこの日は、こども新鮮朝市も開催されました。朝に水揚げされた魚介類や手づくり商品の販売などが行われ、来場者は買い物を楽しみました。

まつりを終え、クラブメンバーたちは、「多くの来場があり、ありがたい。来年も企画したい」と話していました。



マグロ解体



振る舞い



活イカ釣り体験

